

2015年度（第4期）

事業計画書

自 2015年4月 1日

至 2016年3月31日

東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエアビル5階

公益財団法人 読売日本交響楽団

2015年度事業計画

(1) 練習所問題について

2015年度は練習会場の確保が大きな課題となる。

現在、川崎市多摩区にある読売日本交響楽団の練習所は、事務棟を約20年前に建て替えたのをはじめ、築50年のホール棟も含めて何度も修繕を重ねてきている。

しかし、首都直下地震や南海トラフの巨大地震が想定されていることから、財団は昨年10月、三菱地所設計による本格的な耐震診断を行った。その結果、ホール棟については、震度6強に耐えるには程遠い状況であることが判明。震度6以下でも大きな地震なら、ホールの壁が倒壊し、吊天井が落下する危険性が高いとのことだった。

財団は、この結果が出た以上、もはやホール棟を使用できないと判断し、今年1月から練習所のホール棟の使用を停止した。事業提携関係にある池袋の東京芸術劇場や、現練習所に近い多摩市のパルテノン多摩、昭和音大など複数の施設を転々として練習場所を確保している。ホールの会場費だけでなく、付帯設備使用料、楽器の運搬費などの負担が増大しており、15年度の大きな経営圧迫要因になるとみられる。

現在、読売新聞東京本社で練習所のホール棟の建て替え案などを検討して頂いている。練習所の土地・建物とも読売新聞社、日本テレビ、読売テレビの所有であり、支援三社で調整を進めて頂くことになる。

(2) 収益力の向上

15年度は定期演奏会など自主公演シリーズが最大規模の9系統（計73公演）になる。外部のホールや団体の発注で個別に演奏会を開く依頼公演も好調で45回を予定するため、年度内の公演数は従来の年間約100回を上回り、118回にのぼる見通し。これを反映し全体の演奏収入も、かつてない6億6000万円を超える水準が見込まれる。

収益力を上げるため、15年度は定期演奏会などを年間11回から10回に減らし、その分、依頼公演を増やす。

来場者の「基礎票」となるシリーズ会員数も順調に推移している。過去最高を記録した14年度の勢いを維持したい。

最終的には、総客席数から招待分などを引いた実売可能席数を基に実際のチケット購入率を示す「有料入場率」の改善につなげていく。

シリーズの整理統合についても、券売の動向をみつつ、順次、機動的に取り組んでいきたい。この一年、有料入場率で見ると、休日午後2時からのマチネーは、池袋の東京芸術劇場、横浜みなとみらいのいずれのホールでも有料入場率80～90%台を確保した。ファンの高齢化の影響か、夜の公演よりも、土日の昼の公演のほうが好まれるという傾向が出ている。

(3) よみうり大手町ホールの活用

よみうり大手町ホールでの「読響アンサンブル・シリーズ」(年間5回)は、14年度は読売新聞文化事業部の主催だったが、15年度から読響の自主公演シリーズに組み込んだ。

平日は午後7時半と遅めの開演にし、司会者と演奏家によるトークを演奏前に用意して「大人のための音楽教室」の色合いを強める。会社帰りのサラリーマンやOLにも足を運んでもらえるようにしたい。ソリストや演奏曲目を厳選し、耳の肥えたクラシックファンも満足できる内容とした。

一方で、同様の性格を持つ「読響カレッジ」シリーズも、改修工事を終えた文京シビックホールで再開する。演奏作品を有名な交響曲など1曲に絞って、コンパクトで親しみやすいレクチャー付き演奏会とした。

(4) 魅力度アップ

演奏会のプログラムを一層、魅力的にすることが、結果的に収益力を押し上げる。2015年度は実力、人気とも兼ね備えた指揮者、ソリストをそろえた。

日本を代表するオーケストラらしい実力と見識を内外に示す企画にも取り組みたい。たとえば、15年9月にサントリーホールで、演奏会形式によって全曲演奏するワーグナーの楽劇「トリスタンとイゾルデ」。初演150年の節目に合わせた大掛かりな演目だ。常任指揮者カンブルランが音楽総監督を務める独シュトゥットガルト歌劇場の出演歌手を多く起用するため、熱心な愛好家から注目を浴びている。ワーグナー研究団体でのカンブルランのレクチャーなど新たなPR手法にも挑戦する。

(5) 社会貢献活動

読響は公益財団法人として社会貢献・地域貢献の面でも役割を果たしたい。2014年度から読売新聞東京本社の協力を得て始めた、全国の教育機関への特製CD寄贈プロジェクトを15年度も継続し、読響が公演に行けない地方へのPR材としても活用する。正力厚生会とタイアップして病院でがん患者らを慰問する「ハートフルコンサート」(年間6回)は、15年春に全47都道府県を一巡し、2巡目に入る。エルダー楽員らによる小中学校でのアンサンブルの「フレンドシップコンサート」(同7回)、地域住民へクラシック音楽の楽しさを伝える「サロンコンサート」(同約40回)にも引き続き力を入れる。

事業計画一覧

I. 自主公演	73回
1. 定期演奏会	10回
2. 名曲シリーズ	10回
3. 東京芸術劇場マチネー	10回
4. 読響メトロポリタンシリーズ	8回
5. みなとみらいホリデー名曲シリーズ	8回
6. 読響カレッジ	5回
7. 東京オペラシティ名曲シリーズ	6回
8. 大阪定期演奏会	3回
9. 読響アンサンブル・シリーズ	5回
10. 特別演奏会	8回
(内訳)	
都区内特別	4回
地方特別	1回
サマーフェスティバル	2回
第九公演	1回
II. 依頼公演	45回
1. 東京都区内公演	31回
2. 地方公演	12回
3. テレビ出演	2回
I + II 小計	118回
III. その他公演	56回
1. ハートフルコンサート	8回
2. フレンドシップコンサート	7回
3. サロンコンサート	41回
合計	174回

2015年度事業計画案回数前年度対比

読売日本交響楽団

事業内容	2015年度計画		2014年度実績
		前年度対比	
自主公演	73	10	63
定期演奏会	10	▲ 1	11
名曲シリーズ	10	▲ 1	11
東京芸術劇場マチネ・シリーズ*	10	▲ 1	11
読響メトロポリタンシリーズ*	8	0	8
みなとみらいホール・名曲	8	0	8
読響カレッジ	5	5	0
気楽にウラシック	0	▲ 6	6
東京オペラシティ名曲シリーズ*	6	6	0
大阪定期演奏会	3	0	3
読響アンサンブル・シリーズ*	5	5	0
特別演奏会	8	3	5
依頼公演	45	8	37
東京都区内公演	31	6	25
地方公演	12	7	5
テレビ出演	2	0	2
海外公演	0	▲ 5	5
小計	118	18	100
その他公演	56	2	54
ハートフルコンサート	8	2	6
フレンドシップコンサート	7	0	7
サロンコンサート	41	0	41
合計	174	20	154

【2015年度実施計画書】

〈自主公演〉 定期演奏会		10 回		
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.10	547	サントリーホール	シルヴァン・カンブルラン	小 森 輝 彦
5.13	548	〃	エイヴ・イン・ゲルベルグ・イェンセン	アンドレアス・シュタイアー
6.5	549	〃	ユーリ・テミルカーノフ	小 山 由 美 ほか
7.1	550	〃	フランソワ＝グザヴィエ・ロト	郷 古 廉
9.6	551	〃	シルヴァン・カンブルラン	エリン・ケイヴスほか
10.13	552	〃	下 野 竜 也	鈴 木 康 浩
12.4	553	〃	オスモ・ヴァンスカ	-
1.14	554	〃	ミヒヤエル・ボーダー	フランチェスコ・ピエモンテーゼ
2.12	555	〃	シルヴァン・カンブルラン	-
3.17	556	〃	ローター・ツァグロゼク	-
〈自主公演〉 サントリーホール名曲シリーズ		10 回		
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.15	581	サントリーホール	小 林 研 一 郎	宮 田 大
5.22	582	〃	クリスチャン・リンドバーグ	楽 田 晃 ほか
6.11	583	〃	ユーリ・テミルカーノフ	デニス・マツエフ
7.29	584	〃	ジェレミー・ローレル	ヴェロニカ・エーベルレ
9.13	585	〃	シルヴァン・カンブルラン	エリン・ケイヴスほか
11.27	586	〃	オスモ・ヴァンスカ	エリナ・ヴァハラ
12.22	587	〃	上 岡 敏 之	イリーデ・マルティネスほか
1.7	588	〃	ミヒヤエル・ボーダー	グザヴィエ・ドゥ・メストレ
2.4	589	〃	シルヴァン・カンブルラン	辻 井 伸 行
3.10	590	〃	ローター・ツァグロゼク	-
〈自主公演〉 東京芸術劇場マチネーシリーズ		10 回		
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.4	176	東 京 芸 術 劇 場	シルヴァン・カンブルラン	-
5.17	177	〃	エイヴ・イン・ゲルベルグ・イェンセン	金 子 平
6.13	178	〃	ユーリ・テミルカーノフ	デニス・マツエフ
8.23	179	〃	下 野 竜 也	アンドレアス・ブランテリド
9.20	180	〃	尾 高 忠 明	諏 訪 内 晶 子
11.28	181	〃	オスモ・ヴァンスカ	エリナ・ヴァハラ
12.19	182	〃	上 岡 敏 之	イリーデ・マルティネスほか
1.9	183	〃	ミヒヤエル・ボーダー	グザヴィエ・ドゥ・メストレ
2.14	184	〃	シルヴァン・カンブルラン	-
3.6	185	〃	ユージン・ツィガーン	朴 葵 姫
〈自主公演〉 みなとみらいホリデー名曲シリーズ		8 回		
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.5	79	横浜みなとみらいホール	シルヴァン・カンブルラン	-
5.30	80	〃	ユーリ・テミルカーノフ	河 村 尚 子
7.25	81	〃	デニス・ラッセル・デイヴィス	タニエル・ケータ'ほか
9.21	82	〃	尾 高 忠 明	諏 訪 内 晶 子
10.3	83	〃	下 野 竜 也	セリーヌ・モワネ
12.20	84	〃	上 岡 敏 之	イリーデ・マルティネスほか
2.6	85	〃	シルヴァン・カンブルラン	辻 井 伸 行
3.12	86	〃	ローター・ツァグロゼク	-

〈自主公演〉 読響メトロポリタン・シリーズ 8 回				
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.16	15	東 京 芸 術 劇 場	小 林 研 一 郎	宮 田 大
5.29	16	〃	ユーリ・テミルカーノフ	河 村 尚 子
6.24	17	〃	フランソワ＝グザヴィエ・ロト	神 尾 真 由 子
9.11	18	〃	シルヴァン・カンブルラン	小 曾 根 真
11.20	19	〃	オスモ・ヴァンスカ	リーズ・ドゥ・ラ・サール
12.25	20	〃	上 岡 敏 之	イリーデ・マルティネスほか
2.5	21	〃	シルヴァン・カンブルラン	辻 井 伸 行
3.4	22	〃	ユージン・ツィガーン	朴 葵 姫
〈自主公演〉 読響カレッジ 5 回				
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.17	9	文京シビックホール	小 林 研 一 郎	-
6.19	10	〃	石 川 星 太 郎	-
8.27	11	〃	鈴 木 秀 美	-
1.29	12	〃	下 野 竜 也	-
3.25	13	〃	小 林 研 一 郎	-
〈自主公演〉 東京オペラシティ名曲シリーズ 6 回				
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.12	1	東 京 オ ペ ラ シ テ ィ	シルヴァン・カンブルラン	小 森 輝 彦
7.24	2	〃	デニス・ラッセル・デイヴィス	タ'ニエル・ケ'ーテ'ほか
8.16	3	〃	ケン＝デヴィッド・マズア	-
10.2	4	〃	下 野 竜 也	セリーヌ・モワネ
12.24	5	〃	上 岡 敏 之	イリーデ・マルティネスほか
3.24	6	〃	小 林 研 一 郎	田 部 京 子
〈自主公演〉 大阪定期演奏会 3 回				
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
6.25	11	ザ・シンフォニーホール	フランソワ＝グザヴィエ・ロト	神 尾 真 由 子
11.21	12	〃	オスモ・ヴァンスカ	リーズ・ドゥ・ラ・サール
12.26	13	〃	上 岡 敏 之	吉 田 浩 之 ほか
〈自主公演〉 読響アンサンブル・シリーズ 5 回				
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
6.16	5	よみうり大手町ホール	川 瀬 賢 太 郎	アレクサンダー・シトコヴェツキー
7.26	6	〃	-	上 岡 敏 之
9.16	7	〃	下 野 竜 也	遠 藤 真 理
11.5	8	〃	-	菊 池 洋 子
1.27	9	〃	-	小 山 実 稚 恵
〈自主公演〉 特別演奏会／首都圏特別 4 回				
月・日	-	会 場	指 揮 者	共 演 者
6.20	-	大田区民ホール アブリコ	石 川 星 太 郎	仲 道 郁 代
1.21	-	東 京 芸 術 劇 場	S. スクロヴァチェフスキ	-
1.23	-	東 京 オ ペ ラ シ テ ィ	S. スクロヴァチェフスキ	-
1.30	-	パルテノン多摩	下 野 竜 也	-
〈自主公演〉 特別演奏会／地方特別 1 回				
月・日	-	会 場	指 揮 者	共 演 者
1.25	-	アクロス福岡シンフォニーホール	小 林 研 一 郎	-
〈自主公演〉 特別演奏会／サマーフェスティバル 2 回				
月・日	-	会 場	指 揮 者	共 演 者
8.17	-	東 京 芸 術 劇 場	ケン＝デヴィッド・マズア	-
8.21	-	〃	下 野 竜 也	服 部 百 音 ほか
〈自主公演〉 特別演奏会／第九公演 1 回				
月・日	-	会 場	指 揮 者	共 演 者
12.18	-	サントリーホール	上 岡 敏 之	イリーデ・マルティネスほか